

# 慣用句(上級)プリント

月

日

名前

問1 「腕に覚えがある」の意味はどれですか？

1. 自分の技術や能力に自信がある      2. 体の一部に傷跡が残っている      3. 過去の経験をよく記憶している      4. 手先が器用で何でも作れる

問2 「袖を引く」を正しく使っている文はどれですか？

1. 袖を引くほど、服のサイズが合わなくなった。      2. 袖を引いて、重い荷物を運ぶ手伝いをした。      3. 黙っている私に、友人が袖を引いて合図した。      4. 寒かったので、コートの袖を引いて伸ばした。

問3 この町に（ ）を埋めるつもりで移住してきた。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 骨      2. 首      3. 手      4. 足

問4 「舌鼓を打つ」を正しく使っている文はどれですか？

1. 舌鼓を打って料理を急いでかきこんだ。      2. 太鼓の音に合わせて舌鼓を打つ。      3. 旅先で地元の名物料理に舌鼓を打つ。      4. 彼は不満そうに舌鼓を打った。

問5 「気を張る」の意味はどれですか？

1. 自分の意見を曲げず、強情に振る舞う      2. 期待を込めて、じつと様子をうかがう      3. 周囲に気を配り、お世辞を言う      4. 緊張して、気持ちをしっかり引き締める

問6 二人はまるで（ ）の交わりのように仲が良い。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 鳥獣      2. 草木      3. 山川      4. 水魚

問7 「見る目がある」の意味はどれですか？

1. 物事のよし悪しや価値を正しく判断する能力がある      2. 人の性格を瞬時に見抜くことができる      3. 遠くのものまでよく見える視力を持っている      4. 流行に敏感で、常に新しいものを取り入れる

問8 「身に余る」を正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は身に余る仕事を引き受けてしまい、過労で倒れた。      2. 身に余る服を着ていると、周囲から浮いてしまう。      3. このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄です。      4. 身に余るほどたくさんの荷物を抱えて歩くのは大変だ。

問9 「息を呑む」の意味はどれですか？

1. 我慢しきれずに、心の中に溜めていた不満を吐き出す      2. 激しい運動のあとに呼吸を整えて落ち着く      3. 相手の出方をうかがって、じつと機会を待つ      4. 驚きや感動などで、一瞬呼吸を止めるほど緊張する

問10 失敗して思わず（ ）を出して照れ笑いました。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 舌      2. 頬      3. 顎      4. 歯

問11 「下駄を預ける」を正しく使っている文はどれですか？

1. 下駄を預けておかないと、帰りに履くものがなくなる。      2. 彼は下駄を預けて、新しい靴を買に行った。      3. この件の判断は、経験豊富な部長に下駄を預ける。      4. 玄関で下駄を預けて、旅館の中に入った。

問12 「身の毛がよだつ」を正しく使っている文はどれですか？

1. 暗い夜道で背後に気配を感じ、身の毛がよだつ思いがした。      2. 美容室で髪を切りすぎて、身の毛がよだつ仕上がりになった。      3. 冬の寒さで震えてしまい、身の毛がよだつほどだった。      4. 驚きのあまり、身の毛がよだつほど大きな声を出した。

問13 「お鉢が回る」を正しく使っている文はどれですか？

1. 欠員が出たため、ついに私にお鉢が回ってきた。      2. お鉢が回るのを見て、誰が一番多く食べるか賭けた。      3. お鉢が回るように、食卓の料理をきれいに並べた。      4. お鉢が回るまで、熱いので触らないように注意した。

問14 会議中に余計な発言をして（ ）を折るな。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 腰      2. 首      3. 膝      4. 背

問15 勝利を（ ）中に収める。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 背      2. 腹      3. 手      4. 足

問16 久しく彼から（ ）沙汰がない。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 風      2. 光      3. 音      4. 水

問17 「手を引く」を正しく使っている文はどれですか？

1. これ以上損失を出さないよう、この事業から手を引く。      2. 迷子にならないよう、母が子供の手を引いて歩いた。      3. 彼は重い荷物を運ぶために、台車の手を引いた。      4. 綱引きで、相手チームが力いっぱい手を引いた。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 自分の技術や能力に自信がある	「腕に覚えがある」は「自分の技術や能力に自信がある」という意味です。
問2	<b>答え 3</b> 黙っている私に、友人が袖を引いて合図した。	「袖を引く」の正しい使い方は「黙っている私に、友人が袖を引いて合図した。」です。意味は「人に合図をしたり、注意を促したりする」です。
問3	<b>答え 1</b> 骨	「骨を埋める」の「骨」の部分が入ります。意味は「その土地や仕事に一生を捧げる覚悟で定住すること」です。
問4	<b>答え 3</b> 旅先で地元の名物料理に舌鼓を打つ。	「舌鼓を打つ」の正しい使い方は「旅先で地元の名物料理に舌鼓を打つ。」です。意味は「美味しいものを食べて満足する」です。
問5	<b>答え 4</b> 緊張して、気持ちをしっかり引き締める	「気を張る」は「緊張して、気持ちをしっかり引き締める」という意味です。
問6	<b>答え 4</b> 水魚	「水魚の交わり」の「水魚」の部分が入ります。意味は「魚と水のように、切っても切れない親密な交際」です。
問7	<b>答え 1</b> 物事のよし悪しや価値を正しく判断する能力がある	「見る目がある」は「物事のよし悪しや価値を正しく判断する能力がある」という意味です。
問8	<b>答え 3</b> このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄です。	「身に余る」の正しい使い方は「このような素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄です。」です。意味は「自分にはもったいないほどである」です。
問9	<b>答え 4</b> 驚きや感動などで、一瞬呼吸を止めるほど緊張する	「息を呑む」は「驚きや感動などで、一瞬呼吸を止めるほど緊張する」という意味です。
問10	<b>答え 1</b> 舌	「舌を出す」の「舌」の部分が入ります。意味は「あざけりや失敗したときなどのしぐさ」です。
問11	<b>答え 3</b> この件の判断は、経験豊富な部長に下駄を預ける。	「下駄を預ける」の正しい使い方は「この件の判断は、経験豊富な部長に下駄を預ける。」です。意味は「物事の決定や処理を相手に一任する」です。
問12	<b>答え 1</b> 暗い夜道で背後に気配を感じ、身の毛がよだつ思いがした。	「身の毛がよだつ」の正しい使い方は「暗い夜道で背後に気配を感じ、身の毛がよだつ思いがした。」です。意味は「恐ろしさや不気味さで、ぞっとする」です。
問13	<b>答え 1</b> 欠員が出たため、ついに私にお鉢が回ってきた。	「お鉢が回る」の正しい使い方は「欠員が出たため、ついに私にお鉢が回ってきた。」です。意味は「順送りに役目や順番が自分に回ってくる」こと」です。
問14	<b>答え 1</b> 腰	「腰を折る」の「腰」の部分が入ります。意味は「人の話や仕事の調子を途中で妨げる」です。
問15	<b>答え 3</b> 手	「手中に収める」の「手」の部分が入ります。意味は「自分の支配下や管理下に置く」です。
問16	<b>答え 3</b> 音	「音沙汰がない」の「音」の部分が入ります。意味は「便りや連絡が全くない」です。
問17	<b>答え 1</b> これ以上損失を出さないよう、この事業から手を引く。	「手を引く」の正しい使い方は「これ以上損失を出さないよう、この事業から手を引く。」です。意味は「関与していた物事から関係を断つ」です。